

「土砂災害から身を守れ!!」

宇多津町立宇多津北小学校 6年 秋山 幸輝さん

1学期の終わりの日にぼくたちが住んでいる香川県を台風11号が縦断しました。幸いぼくの周りではひ害はなく、学校にも無事行くことができました。

しかし、香川県全体でみると土砂災害などいろいろひ害を受けた所もあったようです。

今までテレビや新聞で見てぼくの一番記おに残っている土砂災害は去年広島県で起こった土砂災害です。この土砂災害では多くの人々の命が失われました。突然大雨がふって、一度にたくさん所で土砂くずれが起きたようです。大量の土砂が多くの家をおおっている様子をニュースで見てとてもびっくりしました。

でも、びっくりしたけどぼくの住んでいる所から遠い所で起こったことなので、ぼくにはこわいという実感があまりありませんでした。

そんなぼくにお母さんがおじいちゃんの話をしてくれました。ぼくのおじいちゃんは新聞記者をしていたそうです。事件や事故の現場で取材をするのが仕事でした。土砂災害の現場にも取材に行っていたそうです。

お母さんが小学生のころおじいちゃんは小豆島に単身ふにんをしていました。その時、小豆島では台風が原因で土砂くずれが起きてその取材に行っている時にまた目の前で土砂くずれが起きたそうです。おじいちゃんはもう少しでその土砂くずれにまきこまれるところだったそうです。

「あの時は、おじいちゃんと電話で連絡が取れるまで心配で夜もねむれんかったわ〜。」とおばあちゃんがその時のことを話してくれました。

その話を聞いて、ぼくは命がけでみんなに情報を伝える仕事をしていたおじいちゃんはずごいなと思いました。そして土砂災害が急に身近なものに感じてとてもこわくなりました。

土砂くずれはいつでもどこで起きるかわかりません。そこで土砂災害についてちょっと調べてみました。土砂災害には「がけくずれ」「地すべり」「土石流」の3種類があります。土砂災害を起こす原因は今まで台風や大雨だけだと思っていたけど、それ以外に地しんや火山のふん火などでも起こるそうです。

日本は台風や地しんが多く起こるので土砂災害が発生しやすい所だということがわかりました。

最近では突然の大雨のように異常気象が多いようです。人間がいろいろな開発をして地球の自然環境を悪くしたことも原因ではないかとぼくは考えました。

一度土砂災害が起きると今まで当たり前にしていくらしや財産を失ってしまいます。もしかしたら命を失ってしまうかもしれません。そしてそのひ害から元どおりの生活にもどるためにはとても長い時間がかかってしまいます。

土砂災害を防ぐために砂防ダムを作ったり、山のしゃ面にかべを作ったりしています。しかし、それでも大雨や長雨になると土砂災害が起こってしまいます。

だから、土砂災害が起こった時にひ害を最小限におさえなければなりません。そのためには、まず山の近くに家を建てないことだと思います。また、テレビや新聞のニュースでいろいろな情報をいち早く知り、危ないと思ったら早くひ難することが大切だと思います。それにはハザードマップでひ難場所を確認しておくことが必要です。

「自分の命は自分で守ることが大切です。」と言っている人がいました。ぼくもそう思います。命を守るためにどんな風に行動すればいいのか注意しながら一日一日を大切に生きていきたいです。